

嗚呼國家非常の秋には非常の決斷を必要とするには拘らず何れの政府も黨利黨略の拘束制肘する所となり國民を塗炭の苦しみより救ふこと能はざるのみならず野に在つて天下に呼號して國民に誓約せる諸般の政策も一朝政權を獲得すれば公然無關心の態度を装ひて之が履行を怠り恬然として顧みざるに至つては實に驚かざるを得ざるなり。

翻て對外關係を願れば一層心肝を寒からしむるものあり。即ち歴代内閣の因襲たる軟弱退嬰外交は、大勢順應國際協調主義の外何等の主義主張もなく爲めに歐洲大戰後直後の巴里平和會議に於て列國環視の下に人種平等案の貫徹に慘敗して以來、或は青島の還附となり、或は九ヶ國條約の締結に依り滿洲に於ける特權の喪失となり或は倫敦會議に於て屈辱的海軍協定甘受の結果拭ふべからざる國防上の一大缺陷となり、延ひては統帥權の干犯問題を惹起し、將又今回の滿洲事變に際しては政府當局の錯誤に依り、圖らずも國際聯盟及米國の不當干渉を招來し、併も國際聯盟に於て偶々問題紛糾し其解決困難を告ぐるや、飽迄其主張たる第三者の干渉を排除するの勇氣に乏しく、姑息にも一時其窮境を脱せむため窮餘の一策として聯盟の滿洲問題認識不足を理由に自ら進んで調査委員の派遣を提案して反つて累を後日に貽し、滿洲問題解決の前途に一沫の暗影を投じたるが如き、或は又米國々務卿の一喝に辟易して錦州攻撃のため驟起交戦中の關東軍に前代未聞の敵前退却を強要して我皇軍の光輝ある歴史に千歳拭ふべからざる瑕瑾を印したるが如き、上海派兵に於ても我政府當局の態度は終始不徹底にして、敵に大打撃を加ふるの勇氣なく、彼に尙反撃の餘力を存せしめたる結果停戰會議に當り讓歩に重ぬるに讓歩を以て

するも我が主張を貫徹すること能はずして痛く帝國の威信を失墜したるが如き外交上の失敗は是亦擧げて數ふるに違あらざるなり。

前述の如く我邦内外の狀態を仔細に検討して深く想を國家の前途に馳するとき、苟くも一片愛國の志あるもの、誰か又憤慨せざる者あらん哉。果せる哉、昭和の聖代に彼の忌むべき血盟團の如き暴舉の發生となり以て恐怖時代を現出し、社會人心を極度の不安に陥れたるは蓋し其偶然ならざるを想はしむ。斯くの如き不祥事件を根底より交除せんと欲せば單に限りある警察力の能くすべきものにあらず其遠因に遡り我政界の積弊を掃蕩し仍て國民思想の善導を圖り現に興奮せる國民の神經作用に根本的治療を施すにあらざれば到底回復の望なきや明なりとす。今や我忠勇なる陛下の軍隊は、或は寂寥たる滿洲の荒野に、或は複雑なる上海の國際環境に、勇戦奮闘幾多の犠牲を捧げて我國威を宇内に發揚し、此の沈滞せる日本に一大覺醒を促し、吾人をして暗夜に燈火を得たるの感を懐かしめ大に意を強ふるに足るものあり。

然るに幾多の犠牲を拂ひ、辛うじて贏ち得たる滿洲國の建設も國際聯盟乃至米國の干渉の爲め、其前途は暗愴として容易に樂觀を許さざるのみならず、滿洲國の慈母とも稱すべき地位にありながら、未だ其の承認を躊躇して列國の鼻息を窺ひつゝあるが如き不鮮明なる態度は、實に怪訝に堪へざるなり。

尙一步を進めて現に滿洲視察をなせる、國際聯盟調査委員の調査報告が將來我に不利なる場合、我政府當局は之に對抗して飽迄其主張を貫徹するの勇氣ありや否や、吾人は想を茲に致すとき轉た寒心に堪へざるものあり。